

公益財団法人 浜松市文化振興財団

令和 6 年度 事業計画

令和 6 年度 収支予算

令和6年度 事業計画

【概要】

1. 総括

令和5年度は、数年にわたる新型コロナウイルスとの戦いが明け、社会経済は緩やかな回復へと向かいました。

令和6年度においても、この傾向が続くことを期待していますが、物価動向等の見通しは依然として不透明です。今後の運営にあたっては、引き続き危機感を持って臨む必要があると認識しています。

こうした状況の中にあつて、令和6年度は、浜松市のパートナーとして、6年ぶりの開催となる第12回浜松国際ピアノコンクールの運営を担います。また、アクトシティの開館30周年も迎えることから、新たな飛躍に向けて歩みだす大切な年となります。

これらの事業の実施にあたって、当財団がこれまでに蓄積してきた運営ノウハウやネットワークなどを活用し、市民とともに「音楽の都・浜松」としての都市ブランドをさらに高め、未来につなぐ取り組みが重要であると考えます。

令和6年度は、このような方針のもと、市民、市民文化団体、企業等との協力と連携を深め、多様な芸術文化活動を展開します。これらの活動が生み出す様々な価値を都市の活力につなげ、創造都市浜松の魅力を国内外に広めていくことを目指します。

2. 芸術文化振興への主な取り組み

(1) 芸術文化公演の企画運営について

鑑賞型事業については、当財団の強みである舞台芸術に関する専門性を活かし、質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。

令和6年度は、第12回浜松国際ピアノコンクールの開催年となることから、コンクールゆかりのピアニストを積極的に取り上げた公演を実施し、コンクールの躍進につなげます。この企画は、コンクールゆかりの演奏家による活躍の場を創出する側面もあり、これまでの事業から輩出した人材やネットワークを「蓄積した資産」として発展的に循環させる取り組みとなります。

さらに、アクトシティの開館30周年を記念する事業として、ベートーヴェンの人生を描く舞台「No.9」も上演します。この節目に、当財団が未来に向けて不屈の精神で浜松市の文化振興に寄与するとの姿勢を、ベートーヴェンの人生に重ね、改めて示す意図を持ち、企画した取り組みとなります。

(2) 芸術文化活動等の支援について

様々な分野の市民文化団体等が芸術文化を通じて、地域の活性化や社会課題の解決に取り組むことができる土壌づくりを目指します。

10年ぶりの開催となる浜松市民オペラは、アクトシティ開館30周年を記念する事業となります。この公演は、市民が主体となりオペラの制作・上演に取り組むもので、若い世代の関心をオペラ芸術につなげる重要な事業であると考えます。

さらに、浜松アーツ&クリエイション事業では、創造性ある活動に挑戦する人材の発掘・育成・交流を促進するための支援活動に取り組みます。新たに、活動の継続性を高める一助として、一定のエリア内に点在する個別の創造性ある活動をつなげる事業に挑みます。活動単体では解決困難な案件についても、新たな展開へのきっかけが生まれることを期待するものです。

(3) 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

芸術文化のもつ効用を最大限に活かし、芸術文化を都市の活力につなげ、市民の誇りとなる取り組みを目指します。

第12回浜松国際ピアノコンクール事業については、透明性の高い審査を核として、市民と協働した

出場者受入れ体制や地元企業との協力体制などを丁寧に構築し、信頼性の高い運営に努めます。

次代の芸術文化の担い手の育成については、アクトシティ音楽院事業を中心に、浜松市市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）事業等との連携により、市民が支える未来人材の育成に取り組みます。

3. 所管施設の運営について

(1) 指定管理施設の運営について

令和6年度は、引き続き10施設の管理を担います。

運営にあたっては、浜松市の「文化振興ビジョン」に示された各施設の担う役割を認識し、指定管理者協定に基づく適切な管理運営に取り組みます。

さらに、物価高騰による運営コストの増加傾向にも留意し、緊張感を持って臨みます。

特にアクトシティ浜松については、令和5年度に電気料基本料金が前年度の倍以上となったことから、引き続き厳しい環境に直面しています。可能な限りの節減に努め、効率的な運営を目指します。

浜松市が計画するアクトシティ浜松の大規模改修工事については、工事計画等の策定に向け、最大限の協力体制で臨みます。

また、令和6年度当初から大規模改修工事が始まる浜松市浜北文化センターについては、改修後の予約受付などの運営業務を適切に執行するとともに、リニューアル後の利用促進に向けた営業活動にも取り組みます。

なお、アクトシティ浜松、浜松市楽器博物館、浜松市浜北文化センター、浜松市なゆた・浜北、浜松市・市民ミュージアム浜北、浜松市秋野不矩美術館の6施設については、令和7年度に契約更新を迎えることから、次期指定管理の獲得に向けた提案を準備します。

(2) 施設の利用促進について

施設の利用を促進するため、社会情勢の変化による利用者のニーズ等を敏感にとらえ、施設ごとに最適な手法を見つけ出し、利用者の満足度を高める運営に努めます。

利用者の目的達成に向けて、施設の機能を有効に活用する運営方法の提案し、その施設に価値を見出し、選んでいただける施設となるよう対応します。

また、地域性を活かした特長ある施設運営も、価値として大切にしていきます。

さらに、アクトシティ浜松における大型コンベンション開催については、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューローとの連携のもと、アクトシティ浜松のリニューアル後を見据えた誘致活動を進めます。その際、デジタル化の加速などの社会変化に対し、柔軟に対応できる運営は、重要な要素となります。これまでの実績をベースに、運営の特長にさらなる磨きをかけて誘致に努めます。

4. 法人経営計画

社会や環境の変化等に柔軟に対処するため、自ら考え工夫し、創造性をもって行動する職員の育成を目指します。

災害・事故等の危機管理については、訓練こそが緊急事態の対処方法を体感する手段となります。防災専門家からの「訓練は実践のごとく、実践は訓練のごとく」との指導をふまえ、教育や訓練に際しては、実践的な場面を想定し、様々な対応を身に着けます。

また、育児・介護休業等の制度周知と取得促進に努め、働きやすい職場環境の構築につなげます。

さらに定年制度について、令和6年3月31日から段階的に引き上げを開始し、令和13年度までに65歳とする制度整備も進めます。

今後においても、時代やライフスタイルの変化にあわせた働きやすい職場づくりに努めます。

1 芸術文化を育成、振興するための文化事業の提供と、芸術文化の調査、情報収集、発信及び継承

(1) 芸術文化公演の企画、運営及び提供

① 事業方針

令和6年度は、第12回浜松国際ピアノコンクールの本番年であるとともに、アクトシティが開館30周年を迎えることから、コンクールゆかりのピアニストによる公演を積極的に取り上げるほか、記念事業として祝祭感ある企画に取り組みます。

世界的な名演奏家たちを招くアクト・プレミアム・シリーズを引き続き開催するほか、国内外で活躍するオーケストラや演奏家を招聘し、上質な音楽鑑賞の機会を提供します。

これからの活躍が期待される若手演奏家を取り上げるアクト・ニューアーティスト・シリーズでは、演奏家を知っていただき、活動を応援していただける工夫をするとともに、浜松ゆかりのアーティストも積極的に取り上げて、活動を支援します。なお、舞台芸術やエンターテインメント性の高い公演にも取り組みます。

② 重点的に取り組む事項

- ・アクト・プレミアム・シリーズでは、第9回浜松国際ピアノコンクールの優勝者であり若手ピアニストのトップランナーであるアレクサンダー・ガジェヴや、ショパン国際ピアノコンクールで優勝し、世界を舞台に活躍するピアニスト、ダン・タイ・ソンなど3公演を開催します。
- ・アクト・ニューアーティスト・シリーズでは、国内外のコンクール受賞者などを中心に、ピアノやヴァイオリンなど5公演を実施します。演奏後には出演者のトークやサイン会を実施し、アーティストを身近に感じられる機会を作ります。
- ・アクトシティ開館30周年記念事業として、19世紀初頭の音楽の都ウィーンを舞台に、ベートーヴェンの苦悩の人生と創作の輝きを稲垣吾郎が演じる舞台「No.9」を開催します。
- ・浜松ゆかりのアーティストとして、ピアニスト、仲道郁代のリサイタルを開催し、小学生から高校生までを招待することで、若い世代へ鑑賞機会を提供します。世界的なチェリスト、横坂源のリサイタルでは、国際的に活躍する共演者とピアノ・トリオを編成し、室内楽の魅力を届けます。
- ・エンターテインメント性の高い事業として、ブラスやパーカッションが魅せる超絶技巧と究極のアンサンブル「Blast!」や、誰もが知るディズニー音楽を題材とした「ディズニー・オン・クラシック」を開催します。

事業名	会場	開催予定日	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)			
No. 143 佐川 和冴 (ピアノ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	7/28	第21回東京音楽コンクール第1位。
No. 144 大谷 恵理架 (ギター)		8/24	第52回クラシカルギター・コンクール他国内主要コンクールで優勝した俊英。
No. 145 本堂 竣哉+小形 然 (ピアノデュオ)		12/8	東京藝術大学在学中のピアノデュオ。

事業名		会場	開催 予定日	内容
No. 146 前田 妃奈 (ヴァイオリン)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	1/18	第16回ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール優勝。	
No. 147 山下 裕賀 (メゾソプラノ)			第9回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞。	
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開)				
vol. 36 ヒラリー・ハーン& アンドレアス・ヘフリガー (ヴァイオリン&ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	5/14	グラミー賞を3度受賞、世界的人気を誇る21世紀を代表するヴァイオリニスト、ヒラリー・ハーンと実力派ピアニスト、アンドレアス・ヘフリガーによるコンサート。	
vol. 37 ダン・タイ・ソン (ピアノ)		6/17	「真の芸術家」と称えられる、美しい音色で世界中の聴衆を魅了してやまないピアニスト。	
vol. 38 アレクサンダー・ガジェヴ (ピアノ)		7/13	第9回浜松国際ピアノコンクール優勝、第18回シヨパン国際ピアノコンクール第2位受賞。若い世代における世界のトップを走り続けるピアニスト。	
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル				
Vol. 9 「夢は何処へ」	アクトシティ浜松 中ホール	5/11	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。	
Vol. 10 「シューベルトの心の花」		10/5		
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの 2024	アクトシティ浜松 大ホール	6/16	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする。 共催：K-MIX、Daiichi-TV	
ピアノ・トリオの真髄	アクトシティ浜松 中ホール	6/22	国際的に活躍する3人のトップソリストによる室内楽の世界。 出演：南紫音 (ヴァイオリン)、横坂源 (チェロ)、沼沢淑音 (ピアノ)	
第18回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」	アクトシティ浜松 中ホール	7/21	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。 共催：浜松いわた信用金庫、(公財) 浜松交響楽団	
Blast!	アクトシティ浜松 大ホール	8/30	ブラス、パーカッション、ヴィジュアル・アンサンブルが魅せる超絶技巧と究極のアンサンブル。 共催：テレビ静岡	

事業名	会場	開催 予定日	内容
舞台「No.9 ー不滅の旋律」	アクトシティ浜松 大ホール	2/1～2 (仮)	19世紀初頭の「音楽の都」ウィーンを舞台に、 ベートーヴェンの苦悩の人生と創作の輝きを演 じる。 出演：稲垣吾郎ほか 共催：テレビ静岡
オーケストラ・アンサンブル 金沢	アクトシティ浜松 中ホール	3/9	日本発のプロフェッショナルによる常設室内管 弦楽団として、1988年に設立されたオーケスト ラ。

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

① 事業方針

令和6年度は、YouTube や SNS の活用に加え、引き続き検索連動型広告やディスプレイ広告により WEB 広告を分析・改善し、より効果的な情報発信やチケットの販売促進に取り組みます。

また、オンラインショップの利用促進に向けては、コンビニ決済や後払いサービスなど新たな決済方法も導入します。

創設 30 周年を迎える友の会においては、会員へのこれまでの感謝の気持ちを表わし、チケットの購入に利用できるポイントの付与や、遠州鉄道株式会社の協力によるコンサート来場者へのお帰り切符の付与など、記念企画を実施します。

多彩な事業を展開している財団の活動を、市民やお客様など様々なステークホルダーに知っていただき、応援いただくために、文化情報誌「HCF News」を発行します。

② 重点的に取り組む事項

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(ア) 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へダイレクトメールを送付

(イ) 財団主催事業や受託公演のチケット販売（チケット代金の 10%を会員割引）

・オンラインショップもしくは電話による予約

(ウ) 会員へのサービス提供

・創設 30 周年記念企画の実施

入会年数に応じたポイント及びお帰り切符の付与

招待・優待公演の実施

ノベルティプレゼント企画

・文化情報誌「HCF News」の送付

・浜松市楽器博物館入館料の割引

・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス

イ 広報活動

活動名	内容
財団公式ホームページサイト管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNS による情報発信	YouTube や SNS (Facebook、X、Instagram) を活用した広報活動を展開。
情報誌「HCF News」の発行	発行部数 10,000 部、年 3 回発行。電子書籍による公開も実施。 財団事業及び施設紹介を掲載。
財団事業活動報告書及び活動紹介映像の制作	令和 5 年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作および Web 上で公開。
事業の広報	・事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。 ・インターネットによる検索連動型広告やディスプレイ広告による広報活動。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報の実施。

ウ HCF オンラインショップの運営

(ア) チケット販売（受託販売を含む）

- ・チケットセンターでの引き換え（友の会会員のみ）、宅配、コンビニ発券、電子チケットいずれかを選択可能。
- ・クレジットカードを利用しないコンビニ決済サービス及び後払い決済サービスの導入

(イ) グッズ販売（財団作成 CD・DVD・書籍・記念商品など）

【取扱商品】

- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・浜松市楽器博物館関連製品（CD・DVD・記念商品）
- ・バンド維新関連製品（CD・スコア集・パート譜）

エ アクトシティ浜松インフォメーション・チケットセンターの運営

(ア) アクトシティ施設案内、公演情報の提供

(イ) 財団チケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び受託公演）

(ウ) アクトシティ友の会会員へのチケット販売及び引き換え

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

① 事業方針

市民主体の文化事業を促進するため、アクトシティ開館 30 周年を記念した「第 8 回浜松市民オペラ」を開催し、芸術文化の創造と人材の育成に取り組むほか、「浜松市民文化フェスティバル」では、日頃の研鑽の成果発表の場の提供や、文化団体間の交流を深める機会を作ります。

また、主催者と地域の演奏家をつなぐマッチング事業では、商業施設や医療・介護施設などへの派遣を通じて、コンサートを鑑賞する機会と演奏家の活動の場を提供します。

さらに、音楽の都“浜松”の先駆的な事業として、一流の作曲家の楽曲提供により、子どもたちが作曲家本人から直接指導を受ける「バンド維新」や、子どもの音楽的な可能性を引き伸ばす東京藝術大学の「早期教育プロジェクト」に取り組みます。

アーツ&クリエイション事業では、市民による創造的な活動を支援するため、相談・助言などの伴走支援や、企業とクリエイターとのマッチング事業を実施します。また、市内で活動する個人・団体同士のネットワークの構築及び交流の促進に取り組み、関係人口の拡大による活性化を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・「第 8 回浜松市民オペラ」は、市民が中心となって企画・運営を行い、舞台出演や制作活動を担う体制で取り組むほか、若い世代を巻き込むことで次世代への継承を図ります。
- ・「浜松市民文化フェスティバル」では、高齢化などによる参加団体の弱体化がみられるため、団体の存続や新規団体の加入を目指し、公募による出演や他団体との共演・交流、新規団体のゲスト出演などを実施します。
- ・マッチング事業では、コロナ禍が過ぎ、ミニコンサートなど芸術文化活動に対する開催依頼が増えているなか、大型商業施設等で地元演奏家の出演機会をより多く設けていただくよう、積極的に要望していきます。
- ・「バンド維新」では、楽曲解説や演奏技術の指導方法などを作曲家から直接指導を受けることで、演奏についてより深く学ぶ機会とします。「早期教育プロジェクト」では、大学の教授陣による指導により大学教育の質の高さを早期に体感し、今後の活動について考える機会とします。
- ・アーツ&クリエイション事業では、様々な空間をギャラリーとしてアート作品を展示し、アーティストと企業や個人などの出会いの場を創出するアーティストマッチングや、地域で企画されたイベントをサポートすることで、活動の活性化と継続を図るプロジェクト支援などに取り組みます。
- ・ネットワークを活用する事業として、アーティストやクリエイターを対象にゲストスピーカーを招いた座談会を行い、課題の共有や新たな交流の促進を図るとともに、クリエイターズカタログを発行し、アート作品や活動内容を周知し、活動の場を増やすことを目指します。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第 54 回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/17～19	学校及び一般音楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。
浜松市民文化フェスティバル 2024	アクトシティ浜松 他市内諸施設	8～12 月	地元市民団体や学校による音楽・舞踊公演及び展示会。連盟や協会所属団体、市民公募の出演枠により全 10 部門を実施する。

事業名	会場	開催予定日	内容
第8回浜松市民オペラ 「音詩劇 かぐや」	アクトシティ浜松 大ホール	9/29	古典文学「竹取物語」を題材にした創作オペラを市民が企画・制作し、全国へ発信するとともに若い世代の人材育成を狙う。 主催：第8回浜松市民オペラ実行委員会
第32回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/19～27	ジャズの恒例イベント。浜松市がジャズ一色になるほど多数のイベントを開催する。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会
第70回 浜松市芸術祭演劇・人形劇部門	アクトシティ浜松 クリエート浜松 浜北文化センター 他	11～1月	市内の劇団による演劇・人形劇公演。 (全6公演)
東京藝術大学音楽学部 早期教育プロジェクト2024 in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	2/8・9	東京藝術大学と地域とが協働して取り組む逸材発掘プロジェクト。子どもの音楽的な可能性を引き伸ばす方策を探るとともに、子どもが相互に刺激し学び合う環境づくりを行う。
バンド維新	アクトシティ浜松	3/16	吹奏楽をテーマに市民・団体・指導者・作曲家の交流を促し、次世代を担う市民の活動・交流を支援し活発化する。
演奏会運営事業	市内各所	通年	コンサートを主催したい施設の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供する。

イ 浜松版アーツカウンシル事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松アーツ&クリエイション 事務局運営 (浜松版アーツカウンシル)	—	通年	浜松版アーツカウンシルとして、中間支援組織を運営。浜松市創造都市推進事業補助金の公募から事業実施に対する相談・助言などの伴走型支援を実施。加えて、補助金交付団体以外の市内芸術文化団体にも同様の伴走型支援を行う。また、令和5年度に引き続き、浜松地域の芸術文化に関する調査研究も行う。
支援事業	市内各所	通年	ジャンル間の相互理解やジャンルを超えた交流を促進する「アーティストマッチング」や、活動の場を発掘・紹介・活用する「オフギャラリー活用事業」、活動者間のマッチング事業を展開する「PeerCross project」などを行う。

ウ はままつ文化芸術活動助成事業

市内の芸術文化活動の充実と活性化を目的に、市民の文化活動を支援します。

- ・支援内容：助成金の交付（上限額10万円）、広報活動支援、販売促進支援など

エ 浜松市内文化団体・文化協会

（ア）浜松市浜松文化協会

旧浜松市で活動する主要文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行います。

（イ）浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11 団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに支援を行います。

また、実施する文化活動に対し、「浜松市内文化協会助成金」（上限額 15 万円）を交付します。

オ インターンシップ実習

県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップの受け入れを行います。

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

① 事業方針

音楽の都“浜松”を目指し、次の世代を担う人材の育成やまちなかコンサート、浜松国際ピアノコンクールなどの事業を、浜松市とともに推進します。

次代を担う人材の育成では、アクトシティ音楽院での人材育成事業と、サーラ音楽ホールや天竜壬生ホールでの育成事業を相互に連携させ、未来の音楽の都“浜松”を担う人材の裾野拡大から、世界で活躍する人材の発掘・育成までを一貫して推進します。

また、開催 40 周年となる「プロムナードコンサート」をはじめとした街なかでのコンサートを通して、音楽の都“浜松”の玄関口を音で演出するとともに、市民の音楽活動への発表の場の提供と、街なかのにぎわい創出を図ります。

本年は浜松国際ピアノコンクールの本番年であり、11 月 4 日のオープニングコンサートを皮切りに、延べ 22 日間にわたり開催します。本大会を通じて音楽の都“浜松”を世界に発信します。

② 重点的に取り組む事項

- ・ジュニアオーケストラ浜松やジュニアクワイア浜松、浜松吹奏楽大会、こども音楽鑑賞教室などの事業により、子どもたちが音楽に親しむ機会と自らが演奏する機会を創出し、子どもたちの豊かな感性と創造力を育みます。
- ・アクトシティ音楽院アカデミーコースでは、「浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル」や「バークリー音楽大学事業(ジャズクリニック)」にて国内外の講師陣によるレッスンやセミナーなどを開催し、浜松から世界で活躍する演奏家の輩出を目指します。
- ・アクトシティ音楽院コミュニティコースでは、市民を対象に吹奏楽やジャズ、合唱、主催者育成のための講座などを開講し、本地域の音楽活動の活性化を図ります。
- ・まちなかコンサート開催事業では、「プロムナードコンサート」の開催 40 周年を記念した特別プログラムとして、復刻コンサートやナイトプロム、おでかけプロムを企画します。
- ・第 12 回浜松国際ピアノコンクールでは、コンペティションに加え、出場者によるアウトリーチとして小学校や商業施設、ホームステイ先で行うミニコンサートなどの関連事業も行います。

ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催予定日	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	4/19 7/11 8/14 2月調整中	アクトシティのパイプオルガンをより多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサートを開催する。
オルガンにふれてみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8/12	市民公募の演奏者によるアクトシティのパイプオルガンの演奏体験を行う。
オルガンのパイプを作ってみよう	アクトシティ浜松 中ホール	8/22	夏休みの小中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成する。
オルガン演奏会事業	福祉交流センター	5/22 6/12 7/20 9/16 10/9 12/19 3/12	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催予定日	内容
開催 40 周年記念事業	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～9 月	プロムナードコンサート開催 40 周年を記念し、ナイトプロムや市内大型イベントとタイアップした事業を開催する。
プロムナードコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～11 月	市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する屋外コンサート。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供する。 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	7/2	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅北口広場 「キタラ」他	4～10 月	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュースする、合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する屋外コンサート。

ウ ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松運営事業

事業名	会場	開催予定日	内容
定期練習	市内諸施設	通年	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成を目的とする。
第 30 回定期演奏会（合同）	アクトシティ浜松	9/15	
スプリングコンサート 2025		3/16	

エ 浜松吹奏楽大会事業

事業名	会場	開催予定日	内容
浜松吹奏楽大会 2025			
第 13 回 全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/22	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした全国規模の事業。キタラでのプロムナードコンサートをはじめ、市内中学校を会場とした地域交流プログラム、全国から参加した高校生の交流会等の関連イベントも同時開催する。
第 37 回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール 他	3/23	

オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催予定日	内容
音楽文化都市交流事業	アクトシティ浜松大ホール、宝塚市内文化施設他	10～12 月	本市が音楽文化都市交流協定を結んでいる札幌市、宝塚市との文化交流事業。札幌北野少年少女合唱団がジュニアクワイア浜松定期演奏会に出演。また、宝塚市内において天竜区で活動する市民団体がミュージカル「白井鐵造物語」を上演する。

カ こども音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催予定日	内容
第24回こども音楽鑑賞教室	アクトシティ浜松 大ホール	2/19・20 全4回公演	市内全小学5年生を対象に、良質なオーケストラ演奏に触れる機会を提供する。

キ アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催予定日	内容
アカデミーコース（世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業）			
第30回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル	アクトシティ浜松	8/5～10	国内外の演奏家を講師として迎え、管楽器の奏者を育成するための短期セミナーと、講師陣によるコンサートを開催する。
バークリー音楽大学事業	アクトシティ浜松	1月(予定)	アメリカ・バークリー音楽大学との連携事業。大学教授らによる入学オーディションやジャズクリニックを開催する。
修了生公演事業	市内小中学校 他	随時	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画。
コミュニティコース（市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業）			
ジャズクリニック	市内諸施設	日時未定 (全3回)	守屋純子氏他によるジャズ奏法のクリニックや、ジャズ普及のためのセミナーを開催する。
吹奏楽セミナー	アクトシティ浜松	4/7	保科洋音楽監督を講師に、吹奏楽課題曲講習会を開催する。
	市内小学校 他	4～1月 (全5回)	浜松ジュニアプラス対象のパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催する。
	あいホール	6/2	小編成バンドの音楽表現に特化した実践的な指導法を教える指導者向け講座。
ジャズ譜貸出事業	—	通年	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出しする。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」音源・楽譜貸出事業	—	通年	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家佐藤賢太郎氏が制作した楽曲の音源・楽譜を、アマチュア音楽団体へ無料貸し出しする。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	5～3月 (全12回)	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成する事業開催実践セミナー。2月には、受講生の企画によるコンサートを開催する。
合唱セミナー	アクトシティ浜松	1月	広く一般に合唱を普及させるためのセミナーを開催する。
音楽指導者派遣事業	市内学校・団体	通年	音楽指導者登録者を地元の音楽活動へ派遣し、音楽活動の活性化と人材活用を図る。
子ども音楽セミナー	市内諸施設	10～1月	小中学生を対象にした吹奏楽、洋楽、邦楽の体験型セミナー等を開催する。

ク 浜松国際ピアノコンクール事業

時 期	内 容	会 場	説 明
5月中旬	予備審査	ヤマハ銀座店	審査員長を含む専門委員4名による映像審査を行い、コンクール出場者を選考する。
6月上旬	実行委員会開催	アクトシティ浜松	議題：コンクール出場者承認者決定
6月中旬	予備審査可否通知発送	—	
7月上旬	ボランティア募集開始	—	広報はままつ他で告知し、コンクール運営のボランティアを募集する。
第12回浜松国際ピアノコンクール			
11/4	オープニングコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	前回優勝者ジャン・チャクムルのリサイタル。
11/9～13	第1次予選（5日間）		
11/15～17	第2次予選（3日間）		委嘱作品の演奏を含む。
11/19・20	第3次予選（2日間）		室内楽演奏を含む。
11/23・24	本選（2日間）	アクトシティ浜松 大ホール	
11/24	表彰式		
11/25	入賞者披露演奏会		入賞者6人によるガラ・コンサート。
2月	実行委員会開催	アクトシティ浜松	議題：コンクール報告
通年	優勝者ツアー開催地・主催者との調整	—	国内外のホール事業者や音楽祭主催者に向けて、コンクール優勝者の演奏企画を売り込み、優勝者ツアー開催地や日程を調整する。

2 芸術文化活動促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

(1) アクトシティ浜松

① 運営の考え方

コロナ禍を経て、オンライン開催のメリットを享受しながらも、参加者同士の交流など、現地では得られない価値を求める主催者が増えてきました。令和6年度も引き続き、オンライン、現地開催及びハイブリッド形式など、多様に変化する開催形態に対応した運営を進めます。

コンベンションの誘致活動では、全国の学会や大会の会場に出展することで、コンベンションの開催予定や、主催者や参加者のニーズなどを情報収集し、将来のアクトシティ浜松での開催に向けた提案を行います。

機材レンタルやケータリングを利用者に代わって手配するなど、催事の開催を支援するサポートサービスは、内容について大変好評をいただいていることから、サービスメニューの更なる充実を図ることで、利用者満足度の向上による選ばれる施設を目指します。

さらに、商業施設やホテルなどとの連携を密にしながら、アクトシティへの誘客と近隣施設への回遊を図り、開館30周年を迎えるアクトシティに人々が集うきっかけをつくります。

② 重点的に取り組む事項

- ・コンベンションの誘致活動では、改修工事後を見据え、大型コンベンション開催計画や開催地に求められる条件などを情報収集し、浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携した活動を進めます。
- ・サポートサービスでは、配信機材の貸出や看板の作成・設置、清掃の代行発注など、利用者のニーズに可能な限り対応するとともに、弁当やケータリングのニーズに対し浜松を印象づけるため、地元食材による豊富なメニューを提供するとともに、ホームページなどで積極的に発信します。
- ・利用者アンケートの活用や現状分析を行うことで、変化する利用者ニーズを的確に把握し、リピーター獲得を図ります。また、施設利用や接客に関する勉強会や研修会を通して職員レベルの向上を図り、利用者へのサポート体制を強化します。
- ・浜松まつり期間中に開催する屋外広場でのイベントや、クリスマスのアートによる館内装飾、施設の裏側を探検するバックステージツアーなどにより、来訪者にアクトシティを知っていただく機会とします。
- ・アクトシティ開館30周年記念事業として、楽器博物館やアクト展望回廊、浜松科学館など近隣施設と連携したスタンプラリー等を実施し、アクトシティ周辺の回遊性を高めます。

事業名	開催予定日	内容
施設利用の促進 (3事業)		
コンベンション誘致	通年	全国で行われる学術集会や年次大会への出展を通して、主催者や参加者から情報収集を行い、令和7年度から始まる施設の改修工事終了後を見据えた、誘致活動を行う。また、経験豊かなコンベンション専任の担当者を予約ごとに配置し、ハード・ソフト両面からスムーズな大会運営をサポートすることにより、主催者の負担を軽減し、リピーターを増やす。

事業名		開催予定日	内容
サポートサービスの充実	通年	メニューにないニーズにも可能な限り対応し、施設利用者の満足度向上につなげる。利用者から特に発注の多い弁当においては、地元食材を活用した弁当やヴィーガン（完全菜食主義）用の弁当などバリエーションを増やし、きめ細かな対応で更なる充実を図る。	
利用者ニーズの把握と利用の促進	通年	常に変化している利用者のニーズを的確に把握するため、立ち上げたプロジェクトチームにおいてアンケートの活用や現状分析を行うことで、利用促進やリピーター獲得につなげていく。また利用に関する問題点を洗い出し、解決に向けて取り組み、より利用しやすい施設を目指す。	
アクトシティ活性化事業（4事業）			
アクトでやらまいか浜松まつり	5/3～5	浜松まつり期間中、屋外広場のサンクンプラザにて吹奏楽やダンス等のステージイベントを開催するほか、アクトシティ内店舗を中心とした屋台の出店を行う。	
アクトシティ大冒険！	8/7	アクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側、制振装置など、普段はなかなか見ることのできない場所を大冒険するバックステージツアーを開催する。	
クリスマス装飾	11～12月	浜松ゆかりの若手アーティストに依頼し、市民ロビーからアクトタワーにかけてアートを活用した装飾を施すことにより、クリスマスの機運を盛り上げる。	
アクトシティ開館30周年記念事業	通年	令和6年度にアクトシティが開館30周年を迎えることを記念して、アクトシティ内の施設やテナントをはじめ、浜松科学館といった近隣施設とも連携を図ったスタンプラリー等を実施し、アクトシティ周辺の回遊性を高める。	

(2) クリエイト浜松

① 運営の考え方

クリエート浜松は、ホールやギャラリーなどの多様な機能を有しており、市民による音楽やダンス、絵画、工作など、多彩な芸術文化活動が日常的に行われています。

令和6年度は、昨年初めて開催した若手アーティストによる展示やワークショップ「クリエーターズフェス」をさらに発展させ、高校の美術部や地元企業も巻き込みつつ、若い世代も気軽に集うことのできる施設を目指します。

また、文化活動や生涯学習の場として地域に開かれた施設とすべく、地域住民や学校、商店、企業と積極的につながり、地域に愛される施設、立ち寄りたくなる施設を目指します。

引き続き、浜松国際交流協会や中部協働センター、人権啓発センターなどクリエート浜松内の機関と連携し、多文化共生や国際理解、生涯学習、人権啓発などの社会課題の解決に向けた取り組みも行います。

様々な活動者が集まるクリエート浜松は、互いの創造性を刺激し合うなかで、新たなモノやコトを創造していく創造空間とすることを目指し運営します。

② 重点的に取り組む事項

- ・「クリエーターズフェス」では、市内の高校の芸術科との交流事業や、企業とクリエイターとの連携による作品展示などを企画することにより、若い世代が交流し、新たな連携や創作活動が生まれる場としての展覧会を開催します。
- ・浜松市民文化フェスティバル「絵・写・書・茶・花」展では、作品をわかりやすく解説する「アートコミュニケーション」や質疑応答の場を設けることで、制作者と市民の交流を促し、作品の理解と新たに活動を始めるきっかけづくりとします。
- ・市民活動のスタートアップに際し、ふれあい広場を無料提供する「クリエイティブ・ガラ」や、市民企画の事業を伴走支援する「コラボ・ウィズ」、参加者が興味ある講座を開催する「クリハマ楽校」により、市民の主体的な活動を支援します。
- ・施設利用者や地域住民の創造活動や生涯学習の成果発表の場として、地域住民との連携・協力による「クリエート夏まつり・冬まつり」を開催し、地域に開かれた施設とします。
- ・クリエート浜松近隣の商店と連携し、来館者に地域の商店や産業を知っていただくとともに、施設のくつろぎやにぎわいを創出する事業として、1階ロビーや中庭を利用した「クリエート・マルシェ」、「クリエート・カフェ」を開催します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（市民文化の振興に資する事業（3事業））		
浜松クリエーターズフェス Vol.1 ～ぼくらのいろんな景色展～	7/19～21	浜松ゆかりの若手アーティストによる作品展示やワークショップ、公開制作などを教育団体や地元企業とも連携して行うほか、「クリエート・マルシェ」も同時開催する。
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展	8/23～25	3階のギャラリーにおいて、地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花などの多彩な文化を披露する。また、作品をわかりやすく解説するといったアートコミュニケーションを行うことで、文化団体と来館者の交流の場を創出する。
夏休み親子教室	7/27	アトリエを使用して、親子で参加できるワークショップを開催する。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（コミュニティ活動の活性化と社会課題の解決に資する事業 4事業）		
クリエートの夏まつり	8/18	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題における啓発事業の紹介も行う。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
クリエートの冬まつり	1/25・26	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題における啓発事業の紹介も行う。 共催：市中部協働センター
第15回はままつグローバルフェア	2/9	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベント。着物などの日本文化にも触れられる場とする。 共催：はままつ国際理解教育ネット、(公財)浜松国際交流協会
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	通年	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
指定事業（その他の事業 4事業）		
クリエート／文芸館コラボ事業	通年	文芸館の広報PR促進事業。（文芸館展覧会屋外ラッピング制作、館内ガチャ俳句企画、1階ロビーの文芸館ミニギャラリーブース展示等）
文化情報発信事業	通年	当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施する。
文化情報サロン運営	通年	財団事業の紹介及び文化団体情報の収集と提供を行う。ポスターやチラシを掲示できるエリアも整備する。
活動情報の収集・データベース化事業	通年	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築する。
自主事業（5事業）		
クリエート・マルシェ	年3回程度	クリエート近隣の商店と連携して出店者を募り、「クリエート・マルシェ」を開催。来館者に地域の商店や産業を知ってもらう機会を提供するとともに、クリエート浜松のにぎわいを創出する。
クリエート・カフェ	年3回程度	1階ロビーのカフェスペースにおいて、近隣の飲食店と連携した「クリエート・カフェ」を週末に開催。利用者のサービス向上を目指すとともに、中庭にもオープンカフェを開くことで、来館者がくつろぎやすい空間づくりを行う。
第27回リフレッシュ理科教室	6/22	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作教室。 共催：(公財)応用物理学会

事業名	開催予定日	内容
クリハマ楽校	通年	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出する。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

(3) 浜松市浜北文化センター

① 運営の考え方

浜北文化センターは、令和6年度4月から1年3か月にわたり大規模改修工事が実施され、将来に向けた施設や設備の機能、性能の回復や改良などが行われます。

令和6年度は、リニューアル後の新たな利用者の獲得に努めるとともに、工事期間中に地域における市民の文化活動が停滞しないよう活動継続に向けた支援を行い、浜北文化センターが市北部地域の文化振興の拠点施設として、また、浜名区における文化活動の中核施設となるよう取り組みます。

併せて改修工事についても、施設の詳細を知る現指定管理者として、浜松市に対し最大限の協力を行います。

② 重点的に取り組む事項

- ・市民文化団体が日頃の成果を発表する場として、恒例の「はまきたまると文化フェス」を、浜北文化センターからなゆた・浜北に会場を移して開催します。地域の文化活動が持続するための取り組みです。
- ・リニューアルオープン後の運営の土台を築くため、貸館における利用者を獲得する活動を行います。更新される機能などをPRすることで、既存の利用者だけでなく、当館を利用したことのない団体や企業にもアプローチします。
- ・大ホールを利用する大型公演を招致するため、主催するメディア各局やプロモーターなどを訪問して、浜北文化センターリニューアルオープン後の開催を促します。
- ・施設のリニューアル情報を公式サイトやSNSなどにより発信し、休館にあっても市民の関心をつなぎ、施設再開への期待に応えます。
- ・休館中の地域における文化活動状況を把握するため、協働センターや他館のホール、ギャラリーで課題のヒアリングを行い、休館中やリニューアル後の活動者支援に取り組みます。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（1事業）		
はまきたまると文化フェス in なゆた・浜北	年1回	なゆた・浜北と合同で開催。当館を拠点に活動する文化団体へ発表の場を提供し、文化の力で地域のつながりの維持を図る。
自主事業（4事業）		
新規利用者獲得事業	通年	施設リニューアルオープン後に向けて新規利用者を開拓。これまで利用のなかった団体、企業などに働きかけ、浜北文化センターの利用を呼びかける。
大型公演招致事業	通年	当館での舞台やミュージカル等の大型公演開催に向けて、主催テレビ局やプロモーターなどに対し招致活動を行う。
リニューアル情報発信事業	通年	施設リニューアル情報を公式サイトやSNS等で発信。改修の進捗状況や施設の新機能等を随時発信することでリニューアルへの気運を高める。
文化団体支援事業	通年	地域の文化団体や既存利用団体から活動状況をヒアリング。休館中やリニューアル後の活動を支援する。

(4) 浜松市なゆた・浜北

① 運営の考え方

令和6年度のなゆた・浜北は、浜北文化センターと協働で開催する「はまきたまると文化フェス」の主会場として、地元文化団体の発表や交流の場を創出するほか、映画まつりやジャズフェスティバル、親子対象の講座など、幅広い年齢の方が楽しめる事業を開催します。

また、朝市やイルミネーションなどにより、地域の経済活動の活性化や浜名区の中心的エリアである浜北駅前のにぎわいづくりを行います。

② 重点的に取り組む事項

- ・「はまきたまると文化フェス」では、休館中の浜北文化センターに代わるメイン会場として、地域の文化団体へ発表の場を提供し、本地域の文化活動の継続を促します。
- ・ジャズフェスティバルや映画まつりなどのミドル世代、シニア世代に向けた事業や、小学生を対象にしたクラフト講座を開催し、地域に親しまれる施設とします。
- ・浜北駅前のにぎわいを創出する事業として、地域の生産者による地元産の新鮮な野菜や果物の販売する朝市を開催するほか、駅前広場をコンサートやマルシェなどの開催会場として提供することで、浜北駅前の活性化を図ります。

事業名	開催予定日	内容
自主事業 (9事業)		
はまきたまると文化フェス in なゆた・浜北	1/25・26	浜北文化センターとの共同により、施設利用者へ感謝の気持ちを込めて発表の場を提供するイベント。令和6年度はメイン会場として地域の文化活動の持続を促す。
なゆた・映画まつり	年2回	ファミリーからシニアまで幅広く名画を楽しむイベントを開催。映画館にしばらく行っていない方も気軽に楽しめる映画祭とする。
なゆたホールで グランドピアノを弾いてみよう！	年1回	ホールの舞台上でグランドピアノや持込みの楽器演奏体験ができるイベント。
なゆた・ジャズフェスティバル	年1回	ジャズの生演奏で週末を楽しむコンサート。ジャズが盛んな浜松のニーズを満たすイベント。
親子で作るクラフト講座	年3回程度	母の日やクリスマスの時期に使える小物を親子で作製する、小学生を対象としたクラフト講座。
なゆた・浜北イルミネーション	11月中旬～ 2月中旬	6万球余の電飾を駅前広場に設置する。点灯式は「プロムナードコンサート（市主催）」と同時開催。
なゆた・浜北朝市	月1～2回 程度	浜北駅前で開催し、地元農家や地元出店者が多数参加するなゆた恒例の朝市。まちのにぎわいを創出する。
なゆた駅前広場等活用事業	通年	なゆた駅前広場等を活用し、コンサートやマルシェなど集客力のあるイベントを開催する。
遠鉄電車お帰り切符	通年	なゆた主催有料公演への来場者を対象に、復路の遠鉄電車1乗車分の切符を配布。来館促進、CO2排出削減、地域滞留時間の延長・拡大を図る。

(5) 浜松市天竜壬生ホール

① 運営の考え方

天竜壬生ホールは、天竜区における文化振興の拠点施設として、当地域における市民文化活動の活性化と良質な鑑賞機会の提供に努めます。

市民文化活動の活性化については、北遠地域で活動する吹奏楽団や和太鼓などの文化団体との協働により、コンサートや展示会を開催するとともに、小学生から高校生までを対象にした舞台芸術ワークショップを通じて、次世代の人材育成を行います。

良質な鑑賞機会の提供については、プロの演奏家をホールに招く「壬生の響き」や、演奏家を学校やふれあいセンターなど地域の公共施設に派遣する「天竜区ふれあいコンサート」、地域の楽団が著名な演奏家と共演する「MIBU New Year Concert」により、地域の皆様に生の演奏を届けます。

また、演奏体験を通してホールの響きの良さを感じていただくことにより、更なる利用促進につなげるとともに、コンサートの公演時にはマルシェも開催し、地域に親しまれる施設運営を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・小中高生を対象にしたダンスとミュージカルの育成事業「MIBU ワークショップ」では、月2回のレッスンと12月の成果発表公演を通じて、子どもたちの身体表現力の向上と心身の成長を促します。
- ・「天竜区ふれあいコンサート」では、中山間地域におけるアウトリーチ事業として、奏者を区内の公共施設に派遣します。本年度は小学校の体育館を会場に、二胡奏者による演奏会を行います。
- ・地域の楽団が著名な演奏家と共演する「MIBU New Year Concert」や、地域の愛好者が互いの発表を鑑賞する「MIBU 吹奏楽フェスティバル」や「みぶ遠州の和太鼓」、「みぶ絵手紙展」の開催により、文化団体相互の研鑽と交流の促進を図ります。
- ・地域にゆかりのある演奏家によるコンサート「壬生の響き」では、富士山静岡交響楽団の弦楽メンバーを招き、弦楽アンサンブルを行います。地元商工会の協力によるマルシェも同時開催し、地域との連携にも努めます。
- ・「みぶアーティストステージ」や「ステージ演奏体験」により、ホールの豊かな響きや木のぬくもりを体感していただき、新たなホール利用者の開拓に努めます。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（文化振興事業 2事業）		
壬生の響き 特別編 弦楽アンサンブルコンサート（仮称）	8/10	地域に縁のあるアーティストによる、ホールの特性を活かしたコンサート。 出演予定：富士山静岡交響楽団の弦楽メンバー
MIBU New Year Concert 2025	1/19	地域の市民楽団と著名演奏家が共演する市民参加型コンサート。
指定事業（芸術普及事業 7事業）		
MIBU ワークショップ ダンスクラス	通年 (月2回)	専門講師による、小学生から高校生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図る。
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	通年 (月2回)	
みぶアーティストステージ	7/14	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露する。

事業名		開催予定日	内容
	MIBU 吹奏楽フェスティバル	11/3	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部による合同演奏会。
	MIBU ワークショップ 成果発表公演	12/14・15	ワークショップ受講生たちによる、創作ダンスとオリジナルミュージカル作品の披露公演。
	みぶ遠州の和太鼓 2025	2/16	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。
	みぶ絵手紙展	3/4～13	天竜区内や近隣で活動する地域団体との協働企画による絵手紙展覧会。
自主事業 (5 事業)			
	浜松文芸館出張講座	月 1 回	浜松文芸館で実施している企画の中から好評をいただいている講座を出張して実施する。
	ステージ演奏体験	年 6 回程度	ホールの空き日を利用してコンサートピアノを会館側で準備、ステージを一般開放し演奏体験の機会を提供する。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用することができる。
	育てよう！～アマゴの里親募集～	11 月 2 月	アマゴの托卵と稚魚の放流を通して、地域の自然環境や歴史について学ぶ。
	チケット受託販売	通年	施設利用者の開催公演のチケットを受託販売する。
	魅力発信事業	通年	施設や地域の魅力や情報を Instagram 等の SNS を使って発信する。
自主事業 (共催・協力事業 2 事業)			
	天竜区ふれあいコンサート	年 1 回	一流演奏家によるクラシックミニコンサート。天竜区内の学校や公共施設で無料開催し、ホールまで足を運びにくい地域に生演奏を届ける。 共催：天竜区ふれあいコンサート実行委員会
	天竜芸術祭芸能発表会	10/27	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸能祭の舞台運営を支援する。
その他の事業 (1 事業)			
	インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

(6) 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

① 運営の考え方

市民音楽ホール（通称サーラ音楽ホール）は、市民が主体となり、次の世代を担う音楽文化人材を育成することや、新たな文化活動にチャレンジする取り組みを支援します。

令和6年度も引き続き、子育て世代や障がいのある方を対象にしたコンサートやワークショップを開催し、誰もがホールに親しむ機会をつくります。また、小学生から高校生までの吹奏楽団に市民が指導者として関わったり、大学生が子どもたちの講座で講師となったりするなど、次の世代を市民が育成していく事業にも取り組みます。

さらに、「アイデア・チャレンジ」では、市民の新たなチャレンジを積極的に支援するとともに、ホールの活用方法についても考える機会とします。

さらに、小学校と地域企業見学のマッチングや、秋祭りでの文化活動の発表やマルシェの開催を通して、市民に親しまれる施設を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・ジュニアブラス（小学生）から中学生吹奏楽団、ユース吹奏楽団（中高生）と世代ごとに楽団を形成し、吹奏楽による一貫した次世代育成を行います。市吹奏楽連盟やNPOとの協働により、市民が育成に関わる形をつくとともに、若手指導者の交流事業も実施します。
- ・「アイデア・チャレンジ」は市民の企画を実現する事業です。応募者の自由な発想を尊重し、企画段階から当日の実施までを当ホールが伴走支援します。さらに、活動者と人材を求める団体とのマッチングを行うとともに、ホールの活用方法を模索する機会とします。
- ・乳幼児と保護者を対象にした「ゆるやかコンサート」や、障がいのある方を対象にした「ハートフルコンサート」を開催し、誰もがホールに親しんでいただける機会をつくります。
- ・常葉大学浜松キャンパスとの協働により、幼児向けのワークショップやパパ・ママ向けのエクササイズなど、子育て世代を対象にした講座を開催します。また同時に、大学生にとっての地域社会での実践教育の場とします。
- ・浜松市音楽研究発表会に参加する小学校と地域企業の見学をマッチングすることで、子どもたちが地元の産業を知る機会とします（浜松市教育委員会と当ホールの連携事業）。
- ・地域住民や地元企業と連携して、日頃の文化活動の発表や地元産品の物販などを行う秋祭りを開催し、市民に親しまれ、気軽に集っていただける施設を目指します。

事業名	開催予定日	内容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 6事業）		
ゆるやかワークショップ・コンサート事業 [乳幼児]	年1~2回	気軽に来館して様々な芸術文化を体験する場として、乳幼児と保護者がホールを知る最初の一步となるイベントを企画する。
浜松ジュニアブラス育成事業 [小学生]	通年	小学生有志による合同吹奏楽バンド育成事業。生涯学習活動として、次世代の育成に市民が関わる学びと教への循環を実践する。 共催：NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松中学生吹奏楽団育成事業 [中学生]	通年	市内中学生による合同吹奏楽バンドの育成を通じて初等教育から次のステップである発展的な育成まで橋渡しの機能を担う。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会

事業名	開催予定日	内容
浜松ユース吹奏楽団育成事業 [中高生]	通年	市民音楽ホール開館に合わせて結成された市内の中学から高校世代の吹奏楽バンド育成事業。次代の浜松市の吹奏楽文化の担い手育成を目指す。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
大学連携事業	年数回	常葉大学浜松キャンパスと協働し、大学生が自らの学びを活かして、幼児向けの英語ワークショップやリトミック教室、パパ・ママ向けのエクササイズなどを企画する。
若手指導者交流事業	年1～2回	吹奏楽を題材に指導法を学ぶ講習会や公開リハーサルなど市内外の指導者との交流を含めた若手指導者交流事業を実施する。
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 6事業）		
市民提案型 創造的活動支援・ホール活性化 「アイデア・チャレンジ事業」	通年	当館を会場とした事業を一般公募し、選定事業について、構想段階から実施までを伴走支援する。
ユニバーサルコンサート 「ハートフルコンサート事業」	複数回	多目的室やホールを利用し、障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを開催する。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
サポーターズクラブ活用事業	通年	当館を拠点に活動する文化団体及び個人を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用する。
運営委員会	通年	当館の主催事業及び施設運営について評価、指導の機能をもつ諮問機関を外部に設置する。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びウェブページの整備を行う。
多目的室・エントランスロビー活用事業	通年	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示する。
自主事業（2事業）		
地域・企業連携事業（秋祭り）	11月	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的に実施。文化活動の発表や地元産品の物販などを行う。
ジュニア音楽交流事業（仮称）	12月	浜松ジュニアプラスがホストバンドとなり、ジュニア世代(小学生・中学生)を中心としたジャンルレスな音楽交流会を開催する。
その他の事業（3事業）		
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

事業名	開催予定日	内容
地域・企業連携事業（校外学習）	11～12月	浜松市音楽研究発表会にあわせて、参加する小学校と地域企業の校外学習マッチングをはかり、子どもたちの創造的な文化活動を支援する。
ネーミングライツ企業との連携	通年	サーラグループが助成するホール活用助成制度の周知及びサーラグループ特別協力事業を開催する。（事業：バンドスピリット等）

3 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

(1) 浜松市楽器博物館

① 運営の考え方

令和6年度は浜松国際ピアノコンクールの開催年であることから、ベートーヴェンやシューベルトらが活躍した時代のウィーンのピアノと、その製作者に焦点をあてた特別展を開催します。特別展と連動したレクチャーコンサートや音楽講座を行うことで、ピアノや音楽の歴史などについての知識を深めていただき、コンクールをさらに楽しんでいただきます。

また、市民に演奏の機会を提供しながら世界の楽器を紹介する「音楽の広場」や、楽器体験ワークショップ・楽器製作ワークショップを実施し、楽器や音楽を身近に感じる機会とします。

さらに、海外からの観光客を想定し、英語でも案内する新しい音声ガイドやホームページなどの多言語化を一層進めます。

令和6年度も国内唯一の公立楽器博物館として、調査研究の成果を、展示やメキシコで行われる国際会議への参加などを通して国内外に広く発信するとともに、教育機関との連携により、音楽の都“浜松”の博物館として、次代の音楽文化の振興に努めます。

② 重点的に取り組む事項

- ・特別展「フォルテピアノの芸術」では、製作者が作曲者や演奏家の要望にどう応えたのか、ピアノの機構や素材、技術なども交えて紹介します。レクチャーコンサートでは、日本を代表するフォルテピアノ奏者である小倉貴久子氏が、ウィーンのピアノの移り変わりについて演奏を交えて解説します。
- ・企画展「ラテンアメリカの旅」では、軽快なリズムのサンバ・ルンバ・マンボや、哀愁漂う響きのフォルクローレなど、ラテンアメリカの楽器と音楽文化を紹介します。先住民の文化と海を渡ってきた文化が影響し合いながら生まれた音楽に注目しながら、その変遷を探ります。
- ・イブニングサロンコンサートでは、セネガル出身のグリオ（世襲制の伝承音楽家）であるカラモ・シソコ氏による西アフリカ発祥のリユート型撥弦楽器「コラ」や、トゥバ共和国の伝統楽器である弓奏楽器「イギル」、弦楽器「ドシプール」などの音楽とその文化を紹介します。
- ・イヤホンガイドは、英語での解説や展示内容により説明を変更することができる新しい音声ガイドにリニューアルします。
- ・市内小学校への移動楽器博物館により、世界の楽器と音楽を通して、その国の暮らしや文化への子どもたちの理解を深めるとともに、市内の大学との連携により、SNSでの効果的な発信方法の研究やVR技術を活用した演奏体験ワークショップ、地域の民俗芸能の調査などを行います。

事業名	開催予定日	内容
特別展・企画展・常設展 (5事業)		
企画展 「響き渡る 日本にやってきたラップ」	4/1～5/7 (1/13～)	西洋由来の楽器であるラップが、いつ日本に入りどのような広がりをみせていったのか、黒船来航などの史実とともに紹介する。
特別展 「フォルテピアノの芸術 音楽の都 ウィーンの19世紀」	7/13～12/10	19世紀ウィーンのピアノとその製作者に焦点をあて、優れた音色を生み出すための工夫や技術を紹介する。
企画展 「海をわたった楽器たち 多彩な文化の地 ラテンアメリカの旅」	1/11～3/31 (～5/13)	いくつかのラテンアメリカの楽器をとりあげ、その特徴に注目しながら、海を渡ってきた音楽文化の変遷を探る。

事業名		開催予定日	内容
ミニテーマ展示	通年	1つの展示ケースを利用し、テーマに沿って世界の楽器を紹介する職員によるミニ展示。	
常設展の運営	通年	所蔵楽器の状態を適切に管理し、楽器の特性や種類に応じた展示を行っている常設展示の運営。	
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)			
展示室ガイドツアー	通年	展示室の主な楽器について、テーマに沿って職員がわかりやすく解説するガイドツアー。	
ギャラリートーク	通年	一つの楽器に焦点をあて、実演などを交えて行う職員による解説。	
ミュージアムサロン	通年	ゲストや職員による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。	
シリーズ音楽の広場	通年	地域の音楽家や職員等による展示室でのミニコンサート。	
演奏会 (レクチャーコンサート) (3事業)			
フォルテピアノでたどる ウィーンの音色	9/21	19世紀ウィーンで活躍した作曲家と製作者について、ウィーンのピアノを用いて演奏と解説を実施する。 出演：小倉貴久子	
バンドネオン (仮)	3月予定	アルゼンチンにおいてタンゴで用いられることの多いバンドネオンについて、演奏を交えて歴史を解説する。 出演：小松亮太	
日本にわたったアンデスのうた (仮)	2月予定	アンデス高地に位置するアヤクーチョ地方の暮らしを綴(つづ)る民謡を、弦楽器チンリリによる伴奏でお届けする。	
演奏会 (イブニングサロンコンサート) (2事業)			
西アフリカ伝統弦楽器 コラ ～グリオ(伝承音楽家)が語り奏でる 悠久の響き～	6/22	世襲制の職業音楽家「グリオ」が、西アフリカの伝統弦楽器「コラ」を使い、西アフリカの音楽や文化を紹介する。 出演：カラモ・シソコ、安田尚樹	
～南シベリア遊牧民の伝統音楽～ イギル、ドシプルール、喉歌	11/1	トゥバ共和国の様々な楽器を使い、社会的・文化的な背景などを演奏とお話で紹介する。 出演：寺田亮平	
講座・ワークショップ (4事業)			
講座 「浜松まつりのラッパの歴史」	4/29	浜松まつりで使用するラッパの歴史等を紹介する。 出演：奥中康人	
講座 「嶋崎赤太郎生誕 150 周年 オルガン曲と唱歌」	6/1	日本の作曲家である嶋崎赤太郎氏の生誕 150 周年を記念し、その生涯や名曲を解説する。 講師：赤井励	
ワークショップ 「フォルテピアノを演奏してみよう」	9/22	19世紀フォルテピアノ(復元楽器)を利用して、その仕組み等を学びながら実際に体験も行う。 講師：太田垣至・小倉貴久子	
ワークショップ 「とり笛を作ろう！」	通年	ボール紙とストローでとり笛を作って音を出す。 講師：楽器博物館ボランティア、職員	

事業名	開催予定日	内容
市内小学校移動博物館 (7事業)		
熊小学校	5/27・28	市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介する。保護者や地域住民への開放も含む。
浦川小学校	6/27～7/1	
積志小学校	7/9～12	
都田南小学校	9/10～13	
雄踏小学校	11/19～22	
横山小学校	12/2・3	
都田小学校	2/10～12	
楽器整理・調査・情報発信 (8事業)		
常設展整備	通年	展示室、体験ルームの展示替えを行う。
CD・図録等の販売	通年	所蔵楽器音源のCD、所蔵楽器の図録、オリジナルグッズを販売する。
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	所蔵資料の調査、整理、修理、修復を行う。
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	年2回程度。市内小中学校・公共施設等に配布する。
公式ホームページサイトの管理運営	通年	一般情報とアーカイブス、最新情報ほかを発信する。
他施設での出張展示	通年	新東名サービスエリア展示協力（ネオパーサ浜松SA下り）。
バーチャル博物館の展開	通年	オンラインで館内を見学できるバーチャル博物館を展開する。
国際委員会への参加と発表	9/9～11	CIMCIM年次大会（メキシコシティ）への参加と発表。
他博物館・教育研究機関等との連携 (4事業)		
静岡文化芸術大学との連携事業	通年	静岡文化芸術大学文化政策学部と連携し、特別展に関する情報を、大学生が同年代に向けてSNS発信する。
静岡大学との連携事業	通年	静岡大学情報学部と連携し、収蔵楽器を3D化し、VR機器を利用した体験会を実施する。
科学館との協力事業	1月予定	ワークショップ「青色LEDを使った電子楽器を作って演奏しよう」を共同で開催。製作部分を浜松科学館職員、演奏部分を当館職員が担当する。 講師：山脇一休、浜松城北工業高校生徒
音楽文化・芸能調査	通年	浜松市文化財課、静岡大学情報学部と連携し、市内又は日本の伝承民俗芸能の調査を行う。

事業名	開催予定日	内容
研修受け入れ (5事業)		
学芸員実習	8月	学芸員資格認定の必須科目である実習。全国の大学生の応募者から選考する。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
教職員研修	通年	浜松市の教職員の研修を受け入れる。
中学生・高校生職場体験学習	通年	浜松市の中学生・高校生の職場体験を受け入れる。
中学校との共同授業	下半期	世界の楽器を通しての国際理解教育を提供する。

(2) 浜松文芸館

① 運営の考え方

浜松文芸館は浜松にゆかりのある文芸人の資料を収集・収蔵し、広く市民の皆様を知ってもらうために展示活動を行っています。また、市民の文芸活動の拠点として、市民文芸の発行と各種講座や講演会を実施しています。

令和6年度は、浜松文芸十人の先駆者の知名度を上げるべく、広範に取り上げた展示を行います。年3回の展示では、松島十湖、小百合葉子、加藤雪腸、原田濱人、百合山羽公、相生垣瓜人、原田喬らを、当館所蔵の資料や近年収集した新しい資料を織り交ぜて紹介します。加えて、十湖と鷹野つぎ、藤枝静男と羽公、瓜人のつながりも紹介します。

各種講座や講演会の開催にあたっては、市民のニーズを反映した特色ある内容に取り組むことにより、新たな文芸愛好者の増を図ります。また、地域の大学生と連携した子ども向け講座や、浜松市民文芸における若年層の投稿を促すための取り組みなどにより、子どもから大人まで各世代にわたって親しみやすい施設を目指します。

② 重点的に取り組む事項

- ・特別収蔵展「俳人松島十湖展」では、十湖の子孫などの支援を受け、天竜川の治水など人々のために尽くしながら生涯俳諧に勤しんだことを紹介します。また、「小百合葉子・那須田稔回顧展」では、劇団たんぼぼや絵本により、子どもたちに夢を与え続けた功績を紹介します。
- ・収蔵展「浜松ゆかりの現代日本俳人の系譜展」では、浜松の俳句隆盛の柱となっている三大俳誌「みづうみ」、「海坂」、「椎」が生まれた流れを紹介します。
- ・一般向けの講座では、人気の高い篆刻初級講座と宮澤賢治鑑賞講座のほか、『万葉集』や『源氏物語』など古典に親しむ講座や、俳句入門講座、朗読会などを開講します。
- ・子ども向けの講座では、夏に加えて冬の講座を新設し、静岡大学などの学生の参画を得て、読書や絵本作り、お話づくりの講座を行います。
- ・当館の活動を広く知ってもらうアウトリーチ企画として、パネルや展示品を市内の図書館や協働センター、小中学校、高校等へ貸し出す移動浜松文芸館を実施します。
- ・第70集記念号となる浜松市民文芸は、特に若い年齢層の投稿を促すため、高校を中心とした広報活動を充実させ、老若男女に親しまれる地域の文芸誌とします。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (3事業)		
特別収蔵展 「俳人松島十湖展 ～没後98年、浜松に清々しく人のため世のために突っ走った人がいた！～」	4/1～6/16 (3/1～)	天竜川の治水など人々のために尽くしながら生涯俳諧に勤しんだ浜松の俳人・松島十湖を紹介する。
特別収蔵展 「劇団たんぼぼ創設者小百合葉子・児童文学者那須田稔回顧展」	7/1～10/14	子どもたちに夢を与えた功労者たちに焦点をあて、その作品や生涯について紹介する。
収蔵展 「浜松ゆかりの現代日本俳人の系譜展～加藤雪腸から濱人そして羽公、瓜人、喬へ～」	11/1～2/9	浜松の俳句隆盛の柱となっている三大俳誌「みづうみ」「海坂」「椎」が生まれた流れ、関連の俳人たちを紹介する。

事業名	開催予定日	内容
講座事業 (14 事業)		
『源氏物語』入門講座	全6回	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の玉鬘から藤裏葉までをよむ。 講師：松平和久
くずし字解説講座	全6回	江戸時代に西洋から入ってきた『イソップ物語』。当時の板本(版本)の読解に挑戦する。 講師：勝田敏勝
川柳入門講座	全5回	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師：今田久帆
短歌入門講座	全5回	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) 講師：柴田典昭
俳句入門講座 I春・II初夏・III秋・IV初冬	各4回	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学ぶ。(初心者向け) I：4月 講師：坪井孝之 II：6月 講師：村松二本 III：9月 講師：天野薫 IV：11～12月 講師：渥美絹代
『平家物語』講座	全6回	『平家物語』の巻十～十一をよむ。 講師：大石嘉美
『おくのほそ道』講座	全6回	『おくのほそ道』のクライマックス、平泉・山寺・最上川・出羽三山をよむ。 講師：勝田敏勝
朗読入門講座	全6回	短詩や随筆をよみながら、声に出すこと、表現することの楽しさを味わう。 講師：堤腰和余
朗読書講座	全6回	1冊の本を精読し、その世界を朗読で表現する。 講師：堤腰和余
篆刻初級講座	全6回	文字を学習し、好きな言葉(四字熟語等)の印を作成。 講師：下石哲幸
宮澤賢治鑑賞講座	全5回	テキストとなる詩集の製本及び鑑賞を行う。 講師：折金紀男
『万葉集』講座	全6回	柿本人麻呂や遣新羅使、中臣朝臣宅守と狭野弟上娘の歌を中心によむ。 講師：松平和久
『和泉式部日記』講座	全6回	孤独を分かち合い、折を心得た一組の男女の知性と感性の応酬をよむ。 講師：松平和久
浜松文芸館出張講座 『おくのほそ道』	月1回	浜松文芸館で実施している企画の中から、好評をいただいている講座を出張して実施する。 講師：勝田敏勝 会場：天竜壬生ホール
イベント事業 (2 事業)		
朗読会 山本周五郎『日本婦道記』より「墨丸」	5/19	朗読を通して、山本周五郎作品を味わう。 講師：堤腰和余
朗読会 太宰治『お伽草紙』より	10/20	朗読を通して、太宰治作品を味わう。 講師：堤腰和余

事業名	開催予定日	内容
講演会事業 (2事業)		
井上靖の浜松時代と作品の世界	5/11	少年靖の浜松時代を浮き彫りにし、浜松各地が登場する作品を紹介する。講師：和久田雅之
芭蕉に学ぶ俳句の作り方 (仮称)	11/9	芭蕉の俳句作りに迫る。講師：高柳克弘
子ども向け事業 (5事業)		
夏休み絵本づくり講座	7/27	小学3年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成。講師：井口恭子
楽しいお話づくり講座	8/4	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦。講師：井口恭子
夏休み読書感想文講座	7/27・8/4	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学ぶ。講師：林容子
冬のこども講座 おすすめの本はこれ！ ポップカードを作ろう	12/7	小学3年生から6年生対象。自分が大好きな本をイラストや文章でカードに書き、皆で読み合う講座。講師：林容子
冬のこども講座 クリスマスのとび出すカードを作って お話に親しもう	12/7・14	クリスマスカード作りに挑戦し、お話に親しむ。 【12/7】小学1年生から3年生対象 【12/14】小学3年生から6年生対象 講師：井口恭子
浜松市民文芸事業 (1事業)		
第70集の作品募集・選考・編集・発行	9～3月	70年の歴史をもつ市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考し、優秀作品を浜松市民文芸として編集・発行する。また、記念号として選者の寄稿を計画中。
調査研究・保存・整理 (1事業)		
資料の収集・研究・整理	通年	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等を行う。
教育機関との連携 (4事業)		
入館者や学習見学者への案内・説明	通年	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
職場体験学習・フィールドワーク受入	通年	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高生の職場体験学習の受け入れと出前講座を実施する。
特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業	通年	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。学生とともに文芸館の運営課題を研究し、広報展開や事業を開催する。
インターンシップ実習	夏期～ 秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。

事業名	開催予定日	内容
クリエートとのコラボ事業 (2事業)		
フォト俳句・短歌展	1/25・26	クリエートの冬まつりの一環として、小中高生が民間団体による写真展の写真を見て作った俳句を展示する。
文芸館インフォメーションコーナーの開設	通年	クリエート浜松1階に当館を紹介するコーナーとガチャ機を設置し、広く周知する。
その他事業 (5事業)		
文芸館だより「いざない」発行	年4回	当館の展示や各講座、取組の様子、情報を順次紹介する。
浜松市文化振興財団自主出版『風紋のアンソロジーⅠ、Ⅱ、Ⅲ』販売	通年	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本を販売する。(500円/冊)
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本を販売する。(2,037円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売	通年	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品を委託販売する。
移動浜松文芸館	通年	当館での展示終了後、市内図書館や学校へ展示資料を貸し出し、展示・観覧してもらうアウトリーチ事業。

(3) 浜松市・市民ミュージアム浜北

① 運営の考え方

市民ミュージアム浜北は、大規模改修工事に伴い一時的に休館します。

施設の維持管理業務や事業の実施などはありませんが、大規模改修工事に伴う物品の引っ越し作業や管理業務など、施設管理者として改修工事の必要に応じ、最大限の協力を行います。

併せて、ミュージアムの再開に向けた市民の期待感に応えるため、工事の進捗状況などについて積極的に発信します。

② 重点的に取り組む事項

- ・大規模改修工事に伴う物品の引っ越し作業や管理業務などが円滑に進行できるよう浜松市博物館に協力するとともに、引っ越しや工事期間中における物品の管理を適正に行います。
- ・ホームページやSNSなどを活用し、大規模改修工事の進行状況や再開に関する案内など、浜北文化センターと一体となった情報提供に努めます。
- ・浜北地域の歴史文化に対する市民の好奇心や探求心をつなぐため、市博物館から提供される情報は仮事務所にて案内します。

(4) 浜松市秋野不矩美術館

① 運営の考え方

日本画家・秋野不矩の画業と功績を顕彰するとともに、その文化的価値を後世に伝えるため、本画作品並びに下図や素描、関連資料の展示・保存、調査研究を進めるほか、建築家・藤森照信氏の建造物の顕彰とあわせ、作品の適正な管理に努めます。

展覧会事業では、不矩生誕120年を4年後に控えていることを念頭に調査・研究を進め、これまでの展覧会では語られてこなかった部分まで掘り下げて紹介します。特に、作家としての側面のみならず、人間・秋野不矩の生きざま、母としての一面、当時の芸術的潮流、時代背景などから多角的・多面的に作品を読み解き、新たな価値の創出につなげます。

令和6年度は、「《有為転変》変化してやまぬ創造の源」をテーマの軸とし、不矩表現のベースとなっている無常観をコンセプトにした特別展を年3回、所蔵品展を年5回開催します。

また、幼保から小・中・高、特別支援学校、教員などへの教育支援の関わりを増やすとともに、運営においては、外部アドバイザーや大学などの研究機関、浜松市美術館、秋野不矩の会など専門機関と連携して事業を進めます。

② 重点的に取り組む事項

- ・所蔵品展では、《有為転変》変化してやまぬ創造の源をテーマに、^{るてん}流転・^{みやく}脈・^{ざい}在・^{ことわり}理・^{ぜくう}是空の5つの視点から不矩の画業や人間・秋野不矩を顕彰します。
- ・特別展では、不矩の思想や表現、芸術哲学の方向性を一にする作家として、内田あぐりや高畑郁子などを取り上げるとともに、展覧会のキャプションを工夫し、不矩の表現意図の一層の理解を図り、造形的な魅力を明示します。
- ・一般向けには、不矩の人物像や作品、時代の影響などを紹介する講演会や、不矩の技法を伝える実技研修を開催し、若年層や家族層向けには、表現に親しむ夏休みワークショップや、地域イベントとタイアップして美術館敷地内でまちなかコンサートや館内でのミュージアムコンサートを開催し、当財団の強みでもある音楽イベントを通じて新しい来館者層の拡大を図ります。
- ・不矩作品を所蔵する美術館や同規模美術館などとの連携を積極的に行い、展覧会の質の向上と、美術館同士のネットワークの構築を図ります。
- ・全国展開している新聞社や全国の美術館情報を掲載する雑誌や配信サイトに、積極的に情報を提供します。また、XやInstagramなどにより、美術展の最新情報や地域の文化・観光情報を配信し、全国からの誘客を図ります。

事業名	開催予定日	内容
展示事業 (8事業)		
所蔵品展 (5事業)		※展覧会名称・期間・出展作品は変更する場合があります。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅰ ～ ^{るてん} 流転～	4/2～14	伝統と創造(革新)の狭間で、新しい日本画の創造を目指し、様々な団体に籍をおきながらも試行錯誤を続けた画業に焦点を当て、不矩の創造の源に迫る。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅱ ～ ^{みやく} 脈～	7/2～21	常に変化し続ける世界の中でも、脈々と流れる変わらぬ人の思い、いのちのつながりや文化の継承に焦点を当て、深化・発展していく日本画の魅力に迫る。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅲ ～ ^{ざい} 在～	10/5～11/17	何気ない風景や見慣れた景色の中から、見落としてはならない価値を顕在化させた不矩の眼差しに焦点を当て、不矩が明らかにしたかったものに迫る。

事業名		開催予定日	内容
	《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅳ ～ ^{ことわり} 理～	12/3～1/13	同じ状態を留めない自然の姿、世界中を見てきた不矩がたどり着いた世の理、新たな日本画表現に焦点を当て、作品を通して人間・秋野不矩の根源に迫る。
	《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅴ ～ ^{ぜくう} 是空～	3/25～	晩年の不矩は、可能な限り説明的要素を省き、見えないもの・形なきものの姿を露にしようと試みていた。不矩が目指した究極の筆触表現に焦点を当て、その生き方と表現の源流に迫る。
特別展 (3事業)			
	「内田めぐり展 汎 Fluxes」	4/27～6/23 開会式 4/26	一瞬たりとも同じ形を留めず変幻する自然。自然の中に潜む生命エネルギーの表現と内面的な精神の顕在化に取り組んできた秋野不矩と内田めぐり。2人が目指した新しい日本画表現の画業について顕彰する。
	「日本画☆動物園」	8/3～9/16 開会式 8/2	親子で楽しめる夏休み企画。現代の日本画家たちの視点で追求した様々な動物たちが一堂に会する展覧会。動物の表現を通して、かけがえのないのちの表情を堪能できる作品を紹介する。
	「秋野不矩と高畑郁子展(仮)」	1/25～3/16 開会式 1/24	インドをテーマに革新表現に挑んできた2人の女流画家。高畑の燃え立つような華麗な色彩表現と、不矩ののちを可視化する色彩と構成を通して、変転する世の中から変わらぬ価値を捉えた作品群を紹介する。
展覧会関連事業・教育普及事業 (6事業)			
	館内ギャラリートーク・ 団体向け見学前ガイド	通年	秋野不矩の人物や作品、藤森建築や特別展の展示をより理解いただくための解説及び対話型鑑賞を実施する。
	講演会・実技研修事業	調整中	秋野不矩の人物像や作品、時代の影響などを紹介する講演会と共に、特別展に関連する講演会、秋野不矩の技法を伝える実技研修を開催する。
	教育普及講演会	通年	秋野不矩の画業の顕彰と共に、美術教育や幼児期の表現についての理解や支援に関する講演会を開催する。
	ワークショップ事業	調整中	特別展開催期間及び長期休暇期間中に児童や親子向けの表現に親しむワークショップを開催する。
	教育プログラムの受け入れ	通年	小中高生対象の職場体験学習、校外学習、教員の資質向上研修などの教育プログラムの受け入れを行う。
	インターンシップ実習	夏期～秋期	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れる。
地域連携・広報・その他事業 (6事業)			
	ミュージアムコンサート	不定期	市内演奏家を起用した館内ミニコンサート。作品を鑑賞しながら音楽を楽しんでいただき、音楽ファンなど新規層の来館を促す。

事業名		開催予定日	内容
まちなかコンサート @秋野不矩美術館	不定期	美術館前広場を会場に、吹奏楽演奏やインド舞踊等様々なジャンル・年齢層が出演する野外イベントを開催する。	
浜松市美術館「市展」への協力	年1回	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務を行う。 受付会場：天竜壬生ホール(予定)	
市民ギャラリーの貸出	通年	本館企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し、市民の創作活動の発表の場としていく。 (特別展開催期間を除いて実施)	
公式ホームページサイトの管理運営及びSNSによる情報発信	通年	公式HPサイトの管理運営及びXやInstagram等を活用した情報発信を行う。	
売店事業	通年	図録、ハガキ、グッズ等の販売及び在庫管理を行う。	
調査研究・保存・整理 (1事業)			
作品および資料の収集・研究・整理	通年	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集を行う。	

令和6年度 収支予算

【予算の概要】

1. 基本方針

令和6年度の収支予算は、経常費用2,500,046千円となり、前年度比47,769千円の減少となります。

減少の主な要因は、第12回浜松国際ピアノコンクールの開催により文化事業費が増額した一方で、浜松市浜北文化センターの大規模改修工事による休館と各施設の電気料金の燃料費調整額低下により、全体の予算規模が前年度に比べ縮小したためです。

予算の策定にあたっては、コロナ禍を経て社会経済活動が回復傾向にあるものの、依然として物価変動の先行きが不透明であることをふまえ、優先順位を考慮した適切な費用配分に努めました。

なお、アクトシティ浜松等の電気料基本料金は、令和5年度において前年度から倍増しており、令和6年度においても引き続き高い水準にあります。この影響により、費用は収益を大幅に上回る事となるため、管理経費の抑制に努めます。

2. 収支の状況

(1) 当期経常増減額

令和6年度の当期経常増減額は△99,551千円となります。うち△56,200千円については、ピアノコンクール事業や30周年記念事業などのために積み立ててきた特定費用準備資金を計画に基づき充当します。残り△43,351千円については、広域文化基金の取り崩しに加え、過年度の未処分利益である将来の特定費用準備資金の積立予定資金を充当することで対応します。

なお、費用増大の主な要因であるアクトシティ浜松等の電気料基本料金の負担増については、浜松市に対して施設管理契約の一環として調整を働きかけしていきます。

(2) 指定管理施設の状況

令和6年度の指定管理施設は、前年度に引き続き10施設となります。ただし、浜松市浜北文化センターの休館により、施設利用料金収益は前年度比46,387千円減の624,766千円となります。

また、物価高騰による管理経費の増加により、施設運営は依然として厳しい状況にあることから、各施設の収支はマイナスを見込んでいます。

3. 資金及び基金の活用

(1) 特定費用準備資金の取崩等

令和6年度は、第12回浜松国際ピアノコンクール事業に30,000千円、アクトシティの開館30周年記念事業に20,000千円を充当します。浜松文化芸術活動助成事業用の資金については、市民自らが企画運営する創造的な芸術文化活動への支援として交付する助成金の資金として、2,500千円を充当します。

(2) 基金の活用

事業基金2,160千円を取り崩し、第70回浜松市芸術祭演劇・人形劇部門の事業費用に充当します。また、広域文化基金1,846千円を取り崩し、浜松市天竜壬生ホール等の事業等に充当します。

この結果、令和6年度末の基金残高は、事業基金180,984千円、広域文化基金6,273千円を予定します。

収支予算書(損益ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	5,070	5,070	0
基本財産運用益計	5,070	5,070	0
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,551	1,551	0
特定資産運用益計	1,551	1,551	0
③ 事業収益			
入場料収益	63,379	69,822	△ 6,443
チケット手数料収益	2,900	2,350	550
イベント関連収益	18,671	14,801	3,870
協賛金・共催事業収益	20,617	7,328	13,289
受取会費	10,000	10,000	0
広告料収益	1,100	1,480	△ 380
使用料収益	7,170	7,220	△ 50
手数料収益	9,954	9,398	556
図書販売収益	110	160	△ 50
売上収益	5,284	2,271	3,013
施設利用料金収益	624,766	671,153	△ 46,387
観覧料収益	39,830	39,350	480
事業収益計	803,781	835,333	△ 31,552
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,288,817	1,316,173	△ 27,356
受取消費税交付金	0	30	△ 30
受取指定管理料等計	1,288,817	1,316,203	△ 27,386
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	112,440	106,785	5,655
受取受託金計	112,440	106,785	5,655
⑥ 受取補助金等			
受取市補助金	140	425	△ 285
受取補助金等計	140	425	△ 285
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	183,763	82,525	101,238
受取負担金計	183,763	82,525	101,238
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	100	100	0
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,763	1,108	655
受取事業基金振替額	2,160	6,095	△ 3,935
受取寄付金計	4,023	7,303	△ 3,280

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
⑨ 雑収益			
受取利息	6	6	0
雑収益	904	896	8
雑収益計	910	902	8
経常収益計	2,400,495	2,356,097	44,398
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,714	3,703	11
給料手当	395,178	374,495	20,683
臨時雇賃金	41,146	46,149	△ 5,003
退職給付費用	23,078	23,075	3
福利厚生費	71,416	63,239	8,177
交際費	298	419	△ 121
会議費	106	261	△ 155
懇談会費	5,779	3,315	2,464
旅費交通費	40,088	18,186	21,902
通信運搬費	12,771	11,856	915
減価償却費	9,270	11,829	△ 2,559
消耗什器備品費	3,152	3,032	120
消耗品費	31,535	26,419	5,116
修繕費	17,421	18,342	△ 921
印刷製本費	35,022	29,141	5,881
燃料費	319	291	28
光熱水料費	54,497	106,109	△ 51,612
使用料賃借料	43,057	34,574	8,483
保険料	4,022	4,070	△ 48
諸謝金	65,254	43,565	21,689
租税公課	61,837	44,591	17,246
支払負担金	742,081	827,133	△ 85,052
支払助成金	11,356	5,087	6,269
委託費	703,590	733,824	△ 30,234
手数料	23,217	12,921	10,296
広告料	17,673	16,591	1,082
支払利息	380	393	△ 13
事業費計	2,417,257	2,462,610	△ 45,353
② 管理費			
役員報酬	3,402	3,350	52
給料手当	53,127	50,663	2,464
退職給付費用	2,348	6,485	△ 4,137
福利厚生費	9,424	8,451	973
交際費	80	80	0
旅費交通費	250	250	0
通信運搬費	250	260	△ 10

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
減価償却費	903	903	0
消耗什器備品費	0	55	△ 55
消耗品費	160	173	△ 13
印刷製本費	50	90	△ 40
使用料賃借料	150	200	△ 50
保険料	728	728	0
諸謝金	70	70	0
租税公課	934	924	10
支払負担金	490	450	40
委託費	9,273	10,725	△ 1,452
手数料	1,100	1,330	△ 230
支払利息	50	18	32
管理費計	82,789	85,205	△ 2,416
経常費用計	2,500,046	2,547,815	△ 47,769
当期経常増減額	△ 99,551	△ 191,718	92,167
当期一般正味財産増減額	△ 99,551	△ 191,718	92,167
一般正味財産期首残額	3,187,608	3,141,136	46,472
一般正味財産期末残額	3,088,057	2,949,418	138,639
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3	3	0
② 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,926	△ 7,206	3,280
当期指定正味財産増減額	△ 3,923	△ 7,203	3,280
指定正味財産期首残高	191,694	192,689	△ 995
指定正味財産期末残高	187,771	185,486	2,285
III 正味財産期末残高	3,275,828	3,134,904	140,924

(注) 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

収支予算書(損益ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,535	0	2,535	0	5,070
基本財産運用益計	2,535	0	2,535	0	5,070
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	10	0	1,541	0	1,551
特定資産運用益計	10	0	1,541	0	1,551
③ 事業収益					
入場料収益	63,379	0	0	0	63,379
チケット手数料収益	2,900	0	0	0	2,900
イベント関連収益	18,671	0	0	0	18,671
協賛金・共催事業収益	20,617	0	0	0	20,617
受取会費	10,000	0	0	0	10,000
広告料収益	1,100	0	0	0	1,100
使用料収益	7,029	141	0	0	7,170
手数料収益	9,824	130	0	0	9,954
図書販売収益	110	0	0	0	110
売上収益	5,284	0	0	0	5,284
施設利用料金収益	609,038	16,553	0	825	624,766
観覧料収益	39,830	0	0	0	39,830
事業収益計	787,782	16,824	0	825	803,781
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,194,243	17,715	76,859	0	1,288,817
受取指定管理料等計	1,194,243	17,715	76,859	0	1,288,817
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	112,440	0	0	0	112,440
受取受託金計	112,440	0	0	0	112,440
⑥ 受取補助金等					
受取市補助金	140	0	0	0	140
受取補助金等計	140	0	0	0	140
⑦ 受取負担金					
受取事業市負担金	183,763	0	0	0	183,763
受取負担金計	183,763	0	0	0	183,763
⑧ 受取寄付金					
受取寄付金	100	0	0	0	100
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,763	0	0	0	1,763
受取事業基金振替額	2,160	0	0	0	2,160
受取寄付金計	4,023	0	0	0	4,023

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
⑨ 雑収益					
受取利息	0	0	6	0	6
雑収益	892	12	0	0	904
雑収益計	892	12	6	0	910
經常収益計	2,285,828	34,551	80,941	825	2,400,495
(2) 經常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,681	33	0	0	3,714
給料手当	392,692	2,486	0	0	395,178
臨時雇賃金	40,969	177	0	0	41,146
退職給付費用	22,996	82	0	0	23,078
福利厚生費	70,964	452	0	0	71,416
交際費	298	0	0	0	298
会議費	106	0	0	0	106
懇談会費	5,779	0	0	0	5,779
旅費交通費	40,082	6	0	0	40,088
通信運搬費	12,703	68	0	0	12,771
減価償却費	9,036	234	0	0	9,270
消耗什器備品費	3,107	45	0	0	3,152
消耗品費	31,297	238	0	0	31,535
修繕費	17,124	297	0	0	17,421
印刷製本費	35,006	16	0	0	35,022
燃料費	313	6	0	0	319
光熱水料費	54,491	6	0	0	54,497
使用料賃借料	42,780	277	0	0	43,057
保険料	3,961	61	0	0	4,022
諸謝金	65,227	27	0	0	65,254
租税公課	60,992	845	0	0	61,837
支払負担金	722,803	19,278	0	0	742,081
支払助成金	11,356	0	0	0	11,356
委託費	693,449	10,141	0	0	703,590
手数料	23,120	97	0	0	23,217
広告料	17,673	0	0	0	17,673
支払利息	370	10	0	0	380
事業費計	2,382,375	34,882	0	0	2,417,257
② 管理費					
役員報酬	0	0	3,402	0	3,402
給料手当	0	0	53,127	0	53,127
退職給付費用	0	0	2,348	0	2,348
福利厚生費	0	0	9,424	0	9,424
交際費	0	0	80	0	80
旅費交通費	0	0	250	0	250
通信運搬費	0	0	250	0	250

(単位:千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
減価償却費	0	0	903	0	903
消耗品費	0	0	160	0	160
印刷製本費	0	0	50	0	50
使用料賃借料	0	0	975	825	150
保険料	0	0	728	0	728
諸謝金	0	0	70	0	70
租税公課	0	0	934	0	934
支払負担金	0	0	490	0	490
委託費	0	0	9,273	0	9,273
手数料	0	0	1,100	0	1,100
支払利息	0	0	50	0	50
管理費計	0	0	83,614	825	82,789
経常費用計	2,382,375	34,882	83,614	825	2,500,046
当期経常増減額	△ 96,547	△ 331	△ 2,673	0	△ 99,551
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 96,547	△ 331	△ 2,673	0	△ 99,551
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 96,547	△ 331	△ 2,673	0	△ 99,551
一般正味財産期首残額	1,621,623	73,980	1,492,005	0	3,187,608
一般正味財産期末残額	1,525,076	73,649	1,489,332	0	3,088,057
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	3	0	0	0	3
② 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 3,926	0	0	0	△ 3,926
当期指定正味財産増減額	△ 3,923	0	0	0	△ 3,923
指定正味財産期首残高	191,694	0	0	0	191,694
指定正味財産期末残高	187,771	0	0	0	187,771
III 正味財産期末残高	1,712,847	73,649	1,489,332	0	3,275,828

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

- (1) 資金調達の見込みについて
当期中における借入れの予定はありません。
- (2) 設備投資の見込みについて
当期中における重要な設備投資（除去または売却を含む。）の予定はありません。